



朱雀の翼

つながることの大切さ

新しい年を迎え、コロナ禍4年目となりました。新型コロナウイルスと共に生きていく世の中を経験して、何気ない日常を守っていくことの大切さを改めて感じています。今年は、コロナ禍だからできないのではなく、できる方法を考え、コロナウイルスと上手に付き合っていきましょう。今後も引き続き、感染予防対策をしっかりと行いながら、「つながること」を意識していきたいです。

私たちは、自分以外のものとのつながることで、知らなかったことを知り、自分の世界を広げることができます。また、人とつながることで、お互いを認め合い、響き合っ互いに成長することもできます。コロナ禍の前のつながることが当たり前だった頃のことを思

い出して、生徒の皆さんにも、つながることの良さをもっと知ってほしいです。

では、自分以外のものとのつながるには、どうしたらいいでしょうか。積極的に挨拶をすることは4月から推奨してきましたが、「挨拶レベル3」になり、校長室に申告しに来てくれた人は29人です。これは全校生徒の11%になります。今年度は後2か月あります。もう少し頑張っ柳沢中が挨拶であふれるイメージをもって期待しています。

学校だより9月号に書きましたが、やはりもう少し「一歩を踏み出す勇氣」がほしいといったところでしょうか。人とつながるにも、最初の一歩を踏み出す勇氣が大切です。

新年を迎え、節目のとても重要な時期、自分を大きく変えるいいチャ



ンスです。この1年間をどのように過ごしていきたいのか、こうありたい自分を考え、こうしようと決意した人も多いでしょう。

3学期は、学年の総まとめの時期です。3学期の目標達成のための具体的な取組は考えましたか。

「継続は力なり」という言葉があります。「少しずつ、少しずつ続けていくことが大事、続けると本物の大きな力になる。」という意味です。そして「凡事徹底」の精神、当たり前のことを徹底的に行うことを誠実に取り組んでいくこと、これも時代がどんなに変わってももち続けるべき大切なことです。

昨年よりもさらに良い年にしていきましょう。



自分を励ます魔法の言葉

試験や面接、大事なことに臨むときに「自分を励ます魔法の言葉」を紹介します。1, 2年生も先生たちも保護者、地域の方も心から3年生を応援しています。柳沢中の教職員、学校運営協議会委員の皆さまから「魔法の言葉」を集めてみました。ピピッと来る言葉があったら活用してください。

「大丈夫、大丈夫、だいじょうぶ」「いつも通り!」「当たり前のことをやる。」「整いました。」「元気を出せば何でもできる。」「上を向いていれば必ずいいことがある。」(三浦知良)「勇氣は筋肉と同じようなもの。使うことで強くなる」「できるぞ」「ツイてる!」「頑張れ自分!」「努力は人を裏切らない。」

「迷ったら、直感を信じよう」(大谷翔平も直感で左打ちを選んだそうです。)
「何事もまず深呼吸してから。」「夢は逃げていかない。」「やるしかない!」
「自分が一番(うまい)!楽器演奏の場合…です。」「がんばるんば!」
「気持ちで負けるな!」「他の人ができることは、自分だってできる!」
「今までの努力を信じて」「人生に無駄なことは1つもない」
「今日は「圧倒」してやる!そんな気持ちで!」「明日は明日の風が吹く。」

「When life gives you a lemon, make lemonade.ときに人生には酸っぱいレモンを差し出されることもある。でも工夫次第で美味しいレモネードに変えることはできる。」※校長室より愛のメッセージコーナーに掲示中。



念ずれば花ひらく

移動教室(スキー教室)1年生



ペップトークを学ぶ

1月12日～14日

副校長 佐久間 豊

出発の日の朝、菅平高原の気温はなんと！マイナス21度と今年一番の寒さ。日本一気温が低かったようだが、到着時は5度、天気は晴れ。絶好のコンディションとなった。8割近くの生徒が初スキーだったが、インストラクターの指導を受け、2時間半の講習が終わったときには、「楽しかった。」「滑れるようになった。」「やっと終わった。」「疲れた。」と慣れないスキーの講習はかなり疲れたようだ。お腹も空いたのか夕食をモリモリ食べていた。私も何度も訪れたことのあるこの「初音館」の食事は本当に美味しい。

夜は、近くの体育館でレクリエーション。レク係が考えた伝言ゲームやクイズに先生方も参加して楽しい1時間を過ごした。就寝準備では、布団の敷き方がわからないという事態に。「シーツって何ですか？」コロナ禍で小学時に宿泊行事が中止となり、今回は「初」の宿泊行事。小学時に経験したか否かはとても大きな影響があることを感じた。スキーの疲れですぐに就寝した。

2日目も快晴。昨日同様、暑いくらいだ。朝一番から全員がリフトに乗ってスタート。ドキドキしながらリフトに乗り、ゆっくり揺られて、山の景色を見て、澄んだ空気を吸って、何とも言えぬ感動を味わえたようだ。インストラクターの指示に従いながら、仲間と共に山林コースをゆっくり下ってスキーを楽しんだ。午後から少し天気が曇ってはきたが、気温があるので、少しずつ雪も解け始め、「熱い友情で雪を溶かせ」まさにスローガンそのものだ。

午後の講習が終わったときには、かなり滑れるようになった。「止まれるようになってきた。」「転ばなくなってきた。」夕食後は、宿でゆっくり自由時間を過ごし、「ナイタースキー」へ。雨が降り始め、中止も考えたが、雨がやみ、雪質もコンディションもバッチリ。寒さも感じずナイタースキーという幻想的な風景を楽しんだ。どんどん上達をして2日目終了。そのあとのお風呂は気持ちよかったことだろう。疲れもあってか、いつの間にか静かに寝ていた。

最終日。天候は曇り。かなりスキーも上達し、下ってくるスピードも出て爽快地に滑っていた。「もっと滑りたい」「今度は家族で行きたい」スキー教室を終えた時の生徒の表情は達成感でいっぱい。友達と寝食を共にし、良い思い出が作れたことであろう。この3日間でスキー技術の上達はもちろん、宿舎での行動の速さや集団での動きは今後の学校生活に活かしてほしい。感染対策としての黙食、マスクの着用などみんなでルールを守って健康管理に注意したお陰で、体調不良者が出ることなく無事に帰ってこられたことが何よりであった。



1月14日日本ペップ協会ドリームサポートより講師をお招きし、進路決定に向かう3年生に「自分に伝える前向きな言葉」について授業をしていただきました。ワークシートを活用し、心を前向きにする言葉を選んで伝えるコミュニケーションのトレーニングをしました。

生徒感想より

→今までネガティブに考えることが多く、そのたびに気持ちが落ち込んでいたけど、今回のペップトークで学んだことを生かして受験に向けてポジティブな考えで頑張っていくと思った。

→「大丈夫」「できるよ」というだけがポジティブだと思っていたが、落ち込んでいる自分に共感してあげることも良いことだと初めて知った。



1月27日 校外学習(都内巡り)2年生

2年生は、校外学習(都内巡り)を実施しました。午前中は暖かい日差しに和らぎましたが、午後からは10年ぶりの寒波の襲来ということで厳しい寒さとなりました。西武柳沢駅での出発及び帰着チェックの他に浅草寺と東京駅CPがあり、国立科学博物館を見学する班が多く、お参りどころでは、明治神宮、日枝神社、靖国神社、神田明神、湯島天神、亀戸天神、東京大神宮など偏ることなく、広範囲に渡っていました。

スローガンは、「笑顔：みんなが楽しめるように、飛躍：学年全体が成長できるように、学修：たくさんの学びが得られるように」です。前日の学年集会では、落ち着いた態度で実行委員の話の聴き、4ヶ月後の修学旅行につなげるための大事な行事ということをしかりと理解している様子が感じられました。事前、事後学習も大切ですが、1人1役の係を責任もって遂行し、柳沢中生としての自覚をもち、皆で協力して班行動ができたか、そして楽しかったねと言える思い出をつくることのできたでしょうか。



1月8日 保谷第二小学校でどんど焼き

おおよそ1,500人が集まり、無病息災を祈念しました。どんど焼きは、全国に伝わる火祭りの民間伝承行事です。正月のお飾り、しめ縄などを燃やし、その火で焼いた団子を食べると一年間健康でいられるという言い伝えがあります。柳沢地区には、日本に伝わる伝承行事を残していこうという思いで地域の方々が継承してくださっています。たくさんの柳沢中生ボランティアも参加し、手伝っている姿に嬉しく思いました。

